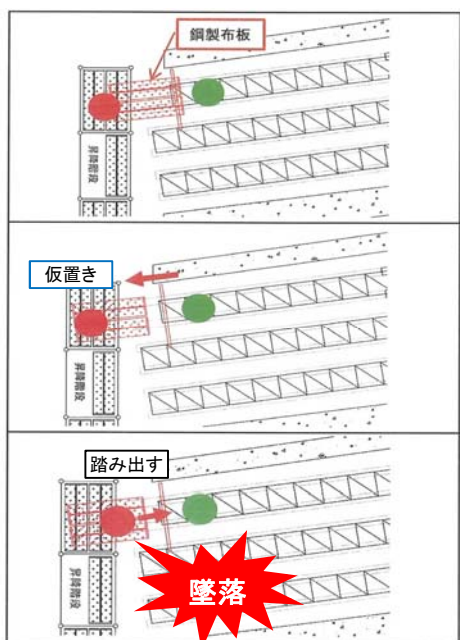
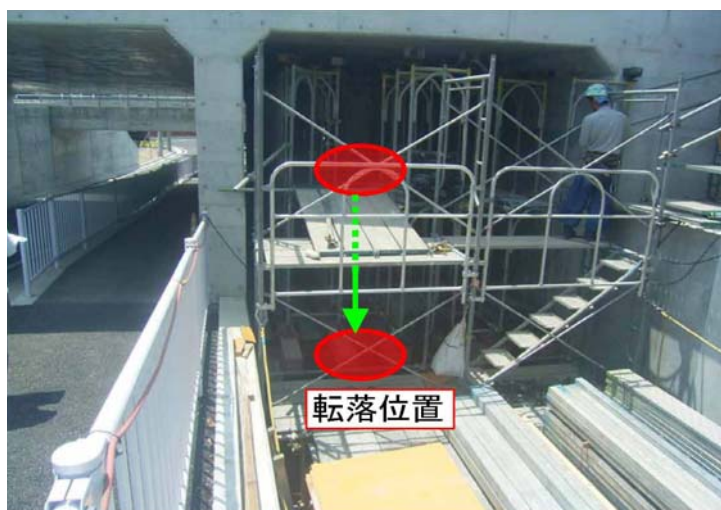
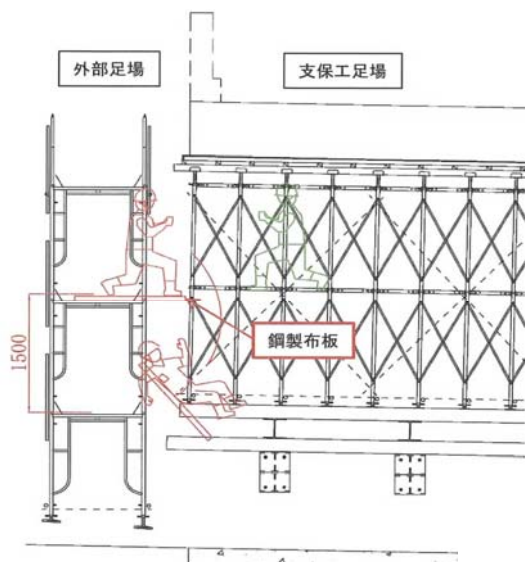


発生日時	平成 23 年 5 月 9 日 (月) 11 時 15 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	24	作業員	右大腿挫傷、右前腕挫傷		
事故概要	型枠支保工解体作業中、作業員が足場板を踏み外し、転落、負傷したもの。					

事故発生状況



・鋼製布板を設置替えする作業を行っていた。

・結束を外し、張り出した状態で仮置きした。

・向かいから資材を受け取ろう踏み出した際に、張り出した布板の上に乗し、墜落したもの。

【事故発生原因】

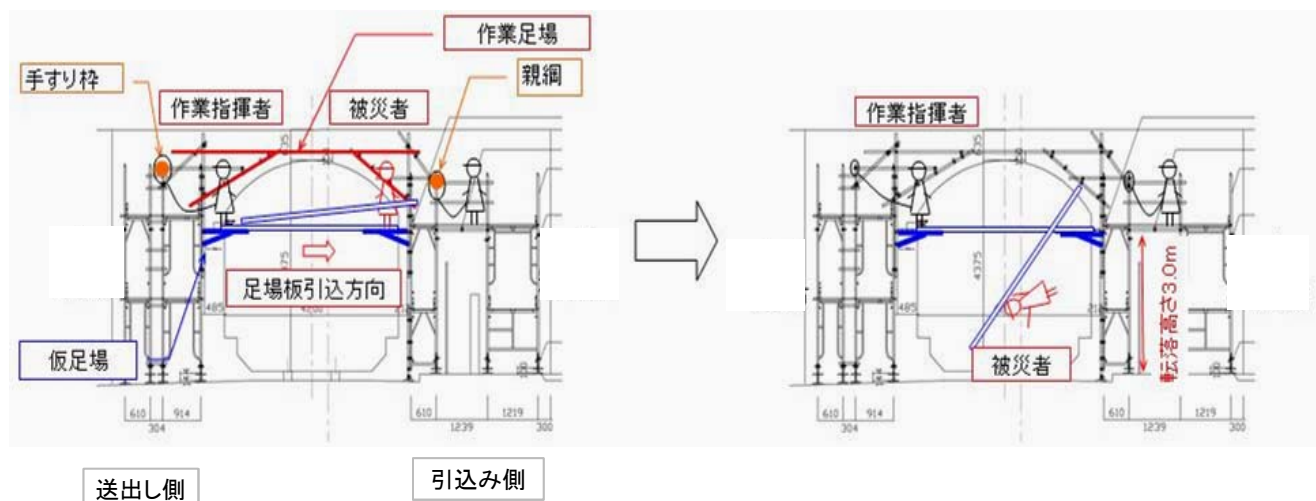
- ・作業時の足元の確認を怠ったため。
- ・作業手順の認識不足。

【事故防止のポイント】

- ・作業時の周辺確認を周知・徹底する。
- ・資材に乗って作業しないように周知・徹底する。 など

発生日時	平成 23 年 7 月 12 日 (火)				4 時 15 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 維持修繕工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	54	作業員	両手首骨折			
事故概要	作業足場設置用の仮足場の撤去時に作業員が転落、負傷したもの。						
	工事関係者事故一墜落						

事故発生状況



現場状況

・天井足場を設置するための仮足場の撤去作業を行っていた。

・仮足場に使用した2枚重ねの足場板（鋼製、L=4m、W=25cm、重量15kg）のうち、上段の足場板を隣接する枠組足場側へ撤去していた。

・上段の足場板が下段の足場板とずれた影響で、送出し側の足場板が落下。
→引込み側の作業員がバランスを崩し墜落した。

【事故発生原因】

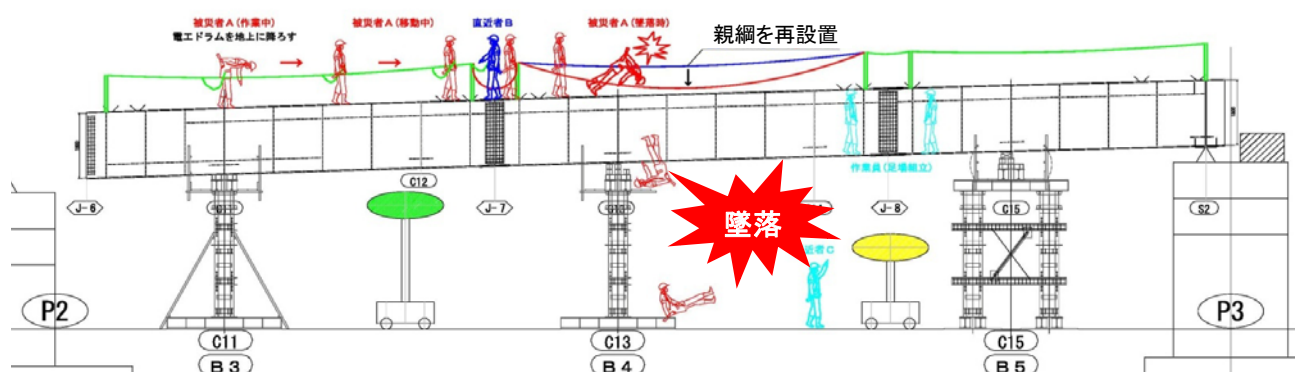
・安全帯を使用していなかったため。

【事故防止のポイント】

・安全帯使用の徹底
・作業手順について作業員に周知・徹底する。
など

発生日時	平成 23 年 8 月 25 日 (木)				3 時 25 分	天候	雨
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	38	作業員	骨盤骨折			
事故概要	架設作業終了後、桁上から作業員が転落し負傷したもの。						
工事関係者事故一墜落							

事故発生状況



- ・桁架設作業終了後、仮設照明の電工ドラムを桁から吊りおろした後、移動のため桁上を歩いていた。
- ・別途作業員が桁架設のジョイント部に親綱を設置するため、隣接桁の親綱をゆるめて綱を伸ばし、ジョイント部へ親綱を再設置している作業の横を通過し、安全帯を親綱にかけないで隣接桁を移動している際に、誤って桁上から転落したもの。



- ・桁上(高さ6.5m)から作業床(高さ4.7m)に転落(①→②)
- ・さらに作業床(高さ4.7m)からベント基礎梁、地上部に転落(②→③→④)

【事故発生原因】

- ・安全帯を親綱にかけていなかったため。 など

【事故防止のポイント】

- ・安全帯を使用するよう作業員に周知・徹底。 など